



校章の由来

昭和52年に、福光、石黒、広瀬の3校を統合し、福光中部小学校として開校した。日本を象徴する桜の花を形どり、3枚の花びらが重なっている。これは、統合する三つの小学校がいつまでも仲良く、共に元気に助け合いながら伸びていってほしいという願いが込められている。（平成21年に福光西部小学校と統合）

校歌

作詞 安カ川 甚 治
作曲 大島 正 尚

一

青空にそびえたつ 医王の山が
たくましくはばたけと 呼んでいる

ああわれら 福光の子は
高く高く のびていこう

ゆるぎない 医王の山を
心にいだいて

二

瀬の音のさえわたる 小矢部の川が
たくましくはばたけと 呼んでいる

ああわれら 福光の子は
清く清く のびていこう

たゆみない 小矢部の川を
心にいだいて



あおそらに そびえたつ いおうのやまが
たくましく はばたけと よんでい る
あ あ われ - ら ぶくみつのこ は
たか - く たか - く のびていこ う
ゆるぎ ない いおうのやまを ころろにいだいて